

(公社)日本ホッケー協会 U15 カテゴリー一部会



第2回常任委員会議事録

期 日:令和6年2月24日(土) 13時00分～17時00分

令和6年2月25日(日) 9時00分～12時00分

会 場:YIC 京都工科自動車大学校 TEL075-371-4055

京都市下京区油小路通塩小路下ル西油小路町 27

参加者 (敬称略)

会 長:井上 英次 (岡山県:瀬戸中学校校長)

副 会 長:山田 茂晴 (富山県:蟹谷中学校校長)

顧 問:馬場 治男 (埼玉県:飯能市教育委員会)

事務局長:久保 克敏 (京都府:瑞穂中学校)

事 務 局:徳光 寿 (山口県:末武中学校)

競 技 部:鈴木 良子 (兵庫県:丹南中学校)

審 判 部:尾木 典隆 (奈良県:桜井西中学校)

常任委員:曾根原龍太 (東北)、佐々木亮太 (関東)、柳生 香奈 (北信越)

山田 享平 (近畿)、道端 良之 (中国)、川原 篤 (四国)

石井 幸美 (九州)、栢元 亮 (東海代理)

U15 海外遠征事務局:幸田 伸也 (奈良県:郡山南中学校)

.....

令和6年度全中大会事務局:松本 大輔 (富山県小矢部市立蟹谷中学校)

文責:徳光 寿 (事務局)

常任委員会

・構成員:17名

・出席者:16名

規約第6章第19条に

則り本会は成立

1 開 会

2 あいさつ

会に先立ち、井上英次 U15 カテゴリー一部会会長 (岡山県瀬戸中学校校長) にご挨拶をいただく。今年度最後の会議となり、今年度の反省を生かし、来年度の事業に活かせられるよう協議していきただきたいとご挨拶いただく。

3 協議事項

(1) エリートアカデミーについて (EA 担当:松村 (オンラインより))

今年度のエリートアカデミー事業について報告。来年度以降の各ブロック選考会の在り方について協議を行った。

(2) 第54回全日本中学生ホッケー選手権大会について・・・[富山県大会実行委員会より]

・「実施要項」「競技運営規程」「会場関係」

○暑さ（熱中症）対策のため競技時間の開始時刻を早める意見が出た（9時からにするか、9時半からにするか）が、宿泊先の朝食対応とも関係してくるため、宿泊業者と確認して来年度5月の第1回常任委員会で提案することを確認。

○コート2面を使用するうち、1面は横幅が29mであることを承認。

・宿泊、弁当要項について

○宿泊施設については、朝食・夕食有りの宿泊施設を優先して確保すること

○夕食が弁当対応となることはできる限り避けてほしいこと

○宿泊一覧にホテル内夕食、外食等のわかるように提示すること を旅行会社に要望。

*全中大会および11人制大会の宿泊についての留意事項

- ・大会期間中については、必ず大会事務局を通して宿泊申し込みをする。
- ・弁当については、以前より希望制としている。
- ・全中大会では大会初日（開会式の前）に公式練習を設ける。

<その他> (U15事務局)

- ・JOC有望選手のトロフィーについては、U15カテゴリー一部会で準備。
- ・昨年度より全中大会の手当者については、日本ホッケー協会に登録された者であることを確認。
(要注意)

・各ブロック参加枠数の決定

内規事項に従い、各ブロック参加枠が以下のように決定。

	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州	開催地	優勝枠	合計
男子	0	3	4	3	2	4	4	1	1	1 富山	1 中国	24
女子	0	2	4	4	2	4	3	1	2	1 富山	1 北信越	24

・全国大会シード権（組み合わせ抽選）及び決勝トーナメントの組み合わせ抽選の確認

全国大会のシード権について やり方：確認（シードが9チームの場合）

①前回の全中でベスト4に入った府県ブロックを先に分ける。

②その後、各ブロックのシード校をランダムに抽選する。但し、予選会を行わずに全中に参加をしている府県はシード扱いをしない。

よって、シードが9チームになった場合は、1つのブロックの中にシード校が2つの入る所ができる。

具体的には・・・開催地枠と今年度のベスト4に入ったブロックは、同ブロックにシードチームが2つ入らないように抽選をする。

令和5度男子ベスト4 優勝：Hiroshima BVHC（中国）、準優勝：岩手U-15HC（東北）
3位：伊吹山（近畿）、川西・米二（東北）

R6開催地枠 富山（北信越）

令和5度女子ベスト4 優勝：朝日（北信越）、準優勝：蟹谷（北信越）
3位：かかみがはら中央クラブ（東海）、今市（関東）

R6開催地枠 富山（北信越）

上記結果により、令和6年度の男子については、開催地枠（北信越・富山）と中国ブロック、東北ブロック、近畿ブロックの1位の4チームについては、先に抽選を行い、この4チームについては同一ブロック内に入らないようにする。その後、他ブロックの1位を抽選する。女子も同様に行う。

・決勝トーナメントの組み合わせ抽選について

今年度まで決勝トーナメントの組合せは、予選リーグの試合が全て終了した時点で抽選を行っていたが、来年度の富山全中からは、事前に決勝トーナメントの組合せ表に入る。組み合わせ抽選はおこなわない。

(3) U15 カテゴリー部会組織および全国大会内規事項等について・・・【事務局】

・U15 カテゴリー部会規約について

資料1

第5章 役員及び任務 第7条 本部会に次の役員を置く

変更前

変更後

- | | | | | |
|---|-----|----------|---|----------------------|
| 1 | 会 長 | 1名 (学校長) | → | (学校長もしくは都道府県ホッケー協会長) |
| 2 | 副会長 | 1名 (学校長) | → | (学校長もしくは都道府県ホッケー協会長) |

上記のような変更を提案し、承認される。

・令和6年度U15 カテゴリー部会役員(案)について

資料2

○会長・・・次年度全中大会開催地(富山県)の校長先生にお願いする。

○副会長・・・令和7年度全中大会開催地(香川県・愛媛県)よりお願いする。

○常任委員、専門委員の交代について確認・・・基本は各ブロックに任せている。

次年度ブロック常任委員、専門委員を変更する場合は、旧常任委員で責任をもって5月の常任委員会までに事務局(徳光)に連絡をする。

資料2の役員案で承認される。

・全日本中学生ホッケー選手権大会内規事項について

資料3

クラブチーム参加規程について

○1. 全国大会参加資格について

- (2) ⑥ クラブチームの登録選手は、チームの所在地と選手の居住地の都道府県が一致していること。
また、一旦提出された登録名簿から年度途中で選手を追加登録することはできない。(少なくとも全国大会終了まではできない。)

クラブチームの参加規程について協議を行い、以下のように変更された。

- (2) ⑥ **クラブチームの登録選手は、チームの所在地と選手の居住地の都道府県が一致していること。
また、一旦提出された登録名簿から年度途中で選手を追加登録がチームを変更することはできない。(少なくとも全国大会終了まではできない。)但し、新規登録はこの限りではない。**

※新規登録：どこのチームにも所属していなかったもの。

・合同チームの規定について

資料4

合同チーム編成条件

- ① 学校長の承認が必要。・・・学校管理下による大会実施を守る。
- ② 必ず教員または部活動指導員による引率であること。
- ③ 合同チームとして認められる範囲は、活動実績のある4チームまでとする。
- ④ レンタルによる合同チームについては全中大会では認めない。

合同チームの編成条件について協議を行い、③の「4チームまで」を「複数校」での編成を許可し、合同チームについて柔軟に対応していくことを承認

- ・令和7年度以降の全中開催地について

R6：北信越ブロック<富山県で開催>

R7：九州ブロック→四国ブロックに変更（香川県：男子 愛媛県：女子 で内定）

令和5年度中に決定までおこなう予定

R8：中国ブロック<令和6年度中に全中開催地の内定を目指す。>

R9：近畿ブロック、R10：関東ブロック、R11：東海ブロック

各ブロックで開催地の把握を進めていくことを確認。

- (4) U15 海外遠征について（担当：海外遠征事務局より）

【報告】

- ・2023 GRYPHONE CUP

* JHA「事業計画」の競技力向上（強化）事業に掲げられた目標を具現化すべく、日本代表チームを編成しオーストラリア海外遠征を4年ぶりに実施した。

* 大会成績

男子：7位（参加17チーム）、女子：1位（参加14チーム）

男女各スタッフから成果と課題について報告があった。男子は7位という結果だったが、本遠征が遠征終了後の意欲にもつながり、U18 選考会に参加する者が多かったことも成果の1つであることが報告された。女子は、予選リーグで負けたチームに決勝で勝ちきることができたことなど、遠征の中でチームや個人の成長が見られたこと等が報告された。

【来年度について】

- ・令和6年9月14日（土）～16日（月） U-15 ジュニアユース選手選考会実施予定

場所：宮城県栗原市築館多目的競技場、宮城県栗原市一迫多目的広場

- ・海外遠征のスタッフについて

U15 カテゴリー一部会としては、来年度は男子監督を松村洋介（岩手：川口中）、女子監督を山田享平（和歌山：吉備中）を中心に活動していくことを確認した。これを受けて U15/16 チームリーダーの馬場先生に強化育成部へ U15 部会の意向を連携していただく。

- (5) 第25回都道府県対抗11人制ホッケー選手権大会について（事務局）

11人制実行委員会代表（中学校部会競技部長 鈴木）

今年度も福井県越前町での大会実施となり、大変盛り上がった。今年度からキッチンカーが導入されるなど、地元のご協力により賑わいが見られた。昨年度から、U15 カテゴリー一部会の中で11人制大会実行委員会を設置し、若手の先生方を中心に福井県の運営に参画をしている。今後も地元福井県の負担軽減を図る工夫をしていき、持続可能な大会運営をしていくことを目指していく。

- (6) 令和5年度決算（中間報告）および事業報告について（事務局、会計）

令和5年度「事業報告」～まとめ～（資料5）、令和5年度「決算報告」～中間まとめ～（資料6）を報告し、承認される。

- (7) 令和6年度事業計画（案）・運営費予算（案）について（事務局、会計）

令和6年度「事業計画（案）」（資料7）、令和6年度「運営費予算（案）」（資料8）について報告し、承認される。

(8) 競技部・審判部より・・・・・・・・・・ (競技部：鈴木、審判部：尾木)

競技部より以下の3点について報告および確認。

①マウスガードやPCフェイスマスク

・ 平時より正しく着用させ、怪我予防に努める。

②メーカー識別商標について (2023年2月27日通知済)

・ GK シャツに大きなメーカー表示があれば、マスク等処置をするよう努力する。ただし、全国大会の予選に当てはまらない大会については適用外とする。

③チームの装具

・ 試合中にプレーヤーが着用するその他の衣類は着用しているユニフォームと同色で、ヘッドバンドやリストバンドは相手チームのユニフォームと違う単色（蛍光色は除く）であればよい。鉢巻に校名等が入っているものは、大会運営規定 or TD 判断をしてもよい。

審判部より以下の4点について報告および確認。

④4.2 PC 時の守備側選手の防具の着用可能範囲の明確化 (2022年変更)

・ 守備者がPC用の防具を取り外す適切な機会が無かった場合、23mのエリア内にいる間、ペナルティ無しで防具を着用し続けることができる。すべてのプレイヤーは、23mのエリアから出る前、または審判から指示されたときに、すべての保護具を外さなければならない。

・ 守備者はPCの終了後の再開がビハインドヒットであった場合、すべてのPC用防具を取外した後にビハインドヒットを行うことができる。

これは、ビハインドヒットとなった場合、守備者にはPC用防具を取外す適切な機会が有ったものとみなされるからである。但し、PC用防具の取外しに不要に時間を消費してはならない。

※6人制は適用範囲を自陣エリアとします。(「23m」を「自陣」と読み替える)

【補足】

・ コートの外にボールが出た場合の再開 (攻撃側シュートがゴールせず、エンドラインを越えたとき)

⇒装具を必ず外してから再開

・ コートの中にボールがある場合の再開 (攻撃側の反則があった場合)

⇒素早くリスタート (パス) が出来る際は、装具をつけたままワンプレイ可能

②罰則カード退場時間の変更

・ 6人制および中学11人制大会において、今までグリーンカードは警告のみであったが、今後は1分間の退場とする。

③アンパイアリファール対象の追加 (主に11人制)

・ 従 来：アンパイアリファールは得点、ペナルティストロークに関わる判定以外に、フィールド内で発生した深刻な反則に対しても実施可能

追加事項：フィールド内で発生した深刻な反則に対しても実施可能。深刻な反則とはイエローカードおよびレッドカードに該当する、

④GKがヘッドギア無し状態でプレイについて

・ 適用状況 ・ GKの装具着用はGKの保護が目的であり、罰するものではないことを理解する。

・ GKがヘッドギア無し状態でプレイを続けることは基本的に認められず、そのままボールを奪いに行くなどの行為はPCとなる。(ヘッドギアが外れるのは意図としない反則のため。)

- ・ボールから一旦離れた状態にも関わらず、そのままプレイを続けていればPSとなる。（ヘッドギアを再び装着するだけの時間があるにも関わらずプレイを続けるのは、意図した反則とみなすため。）
- ・落ちていたヘッドギアにボールが当たった場合、サークル外であればフリーヒット、サークル内であればPG、おそらく入っていたと思われる得点が妨げられればPSとなる。

各常任委員より各ブロックへ周知を図るように確認をおこなった。

(9) その他

- ・JHA 登録料の見直しについて

JHA 登録料の改定の見通しについて議論をおこなった。

- ・能登半島地震について

次年度全国大会が北信越ブロックでの開催もあり、石川県、富山県など能登半島地震の影響があったと聞き、U15 カテゴリー一部会としてなにかできることがないかを検討していくことを確認し、来年度の第1回常任委員会までに各ブロックの支援案をまとめることを確認。

- ・合同チーム及びクラブチームに関する申請の確認および情報交換

＜合同チーム申請の流れ＞

中学校部会 HP に「合同チーム申請書」をアップする。



- ・合同チーム申請方法について

- ①合同チームの申請をするチームは第1回常任委員会の10日前までに各ブロック常任委員に申請をする。（申請書のpdfでの提出締切）
 - ②第1回常任委員会の1週間前までに各ブロックの常任委員はブロックの状況をまとめ、事務局に申請書のpdfをメールで送り報告する。
 - ③合同チームの申請書原本は各ブロックの常任委員が常任委員会に持参する。
（※各チームは常任委員会までに常任委員に原本を送付すること。）
- 公印の押されたものを提出する。押されていないものは認めない。



第1回目の常任委員会で確認・承認

中学校部会 HP にアップおよび各都道府県ホッケー協会宛にメールで「クラブチーム申請書」等の関係書類を送付する。

↓

・クラブチーム申請方法について

①クラブチームの申請をするチームは第1回常任委員会の10日前までに各ブロック常任委員に申請をする。(申請書のpdfでの提出締切)

②第1回常任委員会の1週間前までに各ブロックの常任委員はブロックの状況をまとめ、事務局に申請書のpdfをメールで送り報告する。

③クラブチームの申請書原本は各ブロックの常任委員が常任委員会に持参する。

(※各チームは常任委員会までに常任委員に原本を送付すること。)

○印の押されたものを提出する。押されていないものは認めない。

↓

第1回目の常任委員会で確認・承認

<情報交換>

各ブロックのチーム状況などについて情報を共有した。

・令和6年度第1回常任委員会の日程・場所の確認

令和6年5月19日(日) 場所：京都

4 閉会

閉会にあたり、日本ホッケー協会 U15 カテゴリ一部会副会長山田茂晴(富山県小矢部市立蟹谷中学校校長)様から閉会のご挨拶をいただき、会を閉じた。